

令和 2 年度実施における検討課題について

1 令和 2 年度募集について

(1) 参加決定単位の変更について

現 状

- ・兄弟まとめて参加決定・保留が決定する。
- ・放課後子ども教室の 4 年生以上の学年は、部活や塾等により、参加率が下がる傾向にある。

(今年度参加率：1 年 41%、2 年 42%、3 年 31%、4 年 21%、5 年 25%、6 年 7%)

課 題

- ・参加意欲の高い児童の登録促進

検討案

- ・兄弟でまとめて決定することを廃止し、申請児童ごとにくじ引きで参加決定する。

(2) 申込み方法の拡充及び参加決定方法の変更について

現 状

- ・受付でくじを引く方式のため、特に申請書類を要しない手続きであるにもかかわらず、申込時には期間内に必ず市役所に行かなければならない。
- ・紙による申込みのみでは、データ化に時間がかかることや、申込み人数の増加に伴い参加決定までに時間を要する。

課 題

- ・申請時の負担の軽減
- ・早期の参加決定

検討案

- ・「長久手市電子申請・届出システム」による申込みを可とする。
- ・くじ引きを事務局が引く方式とする。
 - 抽選を公開にて行い、不正が行われないことを強調する。
 - 申込み時に「事務局による抽選に同意する」という確認項目を作る。

2 お迎え目的による利用の禁止について

現 状

- ・小学校は分団下校のため、保護者が学校に迎えに行くことは基本的に認められていない。
- ・放課後子ども教室ではお迎えによる下校である。
- ・参加後10分程度でお迎えに来るケースもあり、ボランティア講師の方が困惑することも。
→本来の事業目的である「子どもの体験活動」ができない。

課 題

- ・本来の事業目的（文化・スポーツ・学習の体験の場）からの逸脱の解消

検討案

- ・「外部講師を招く体験プログラムの場合には、原則お迎えは午後4時以降から」とし、募集段階から案内に明記する。
- ・学期末ごとにお迎え時間を確認し、違反者は原則退会とする。

3 申請者及び参加者のニーズの把握について

現 状

- ・平成29年度にニーズ調査を実施した。
- ・本来の趣旨である「子どもに様々な体験をさせる」が全校とも最も多かった。
- ・次に多かったのが「保護者が就労しており、子どもの預け先として利用するため」であり、就労家庭の預かりの役割も担っていることが明らかとなった。
- ・子どもの環境が年々変化する中で、現在の市のニーズを把握する必要がある。

課 題

- ・現在の利用目的や満足度等の把握

検討案

- ・申請時に、アンケート調査を実施する（質問項目案については別紙参照）。

(案)

放課後子ども教室アンケート

(このアンケートは事業のニーズ調査のためのものであり、参加決定に影響しません。お気軽にお答えください。)

【問1】放課後子ども教室の申請理由について、最も当てはまる番号に○をつけてください。

1. お子様に様々な体験をさせるため
2. 預け先として利用するため
3. その他

具体的に

【問2】お迎えに行く予定の方は就労していますか。最も当てはまる番号に○をつけてください。

1. 就労していない
2. 就労は午後4時まで終わる
3. 午後4時以降まで就労している
4. 今後就労する予定

【問3】どのようなプログラムがあったらよいと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. 無料で体験できる手軽なもの
2. 参加料があっても、質の高いもの
→いくらまでが望ましいですか。1回あたり()円
3. その他

具体的に

【問4】放課後子ども教室に望む方針について、当てはまる番号に○をつけてください。

- | | 望む | まあ望む | どちらともいえない | あまり望まない | 望まない |
|-----------------------------|-----|------|-----------|---------|-------|
| ア 授業のような指導 | (5 | ・ 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1) |
| イ 自由に過ごせる生活の場 | (5 | ・ 4 | ・ 3 | ・ 2 | ・ 1) |
| ウ その他 (何かありましたら以下に御記入ください。) | | | | | |

具体的に

御協力ありがとうございました。